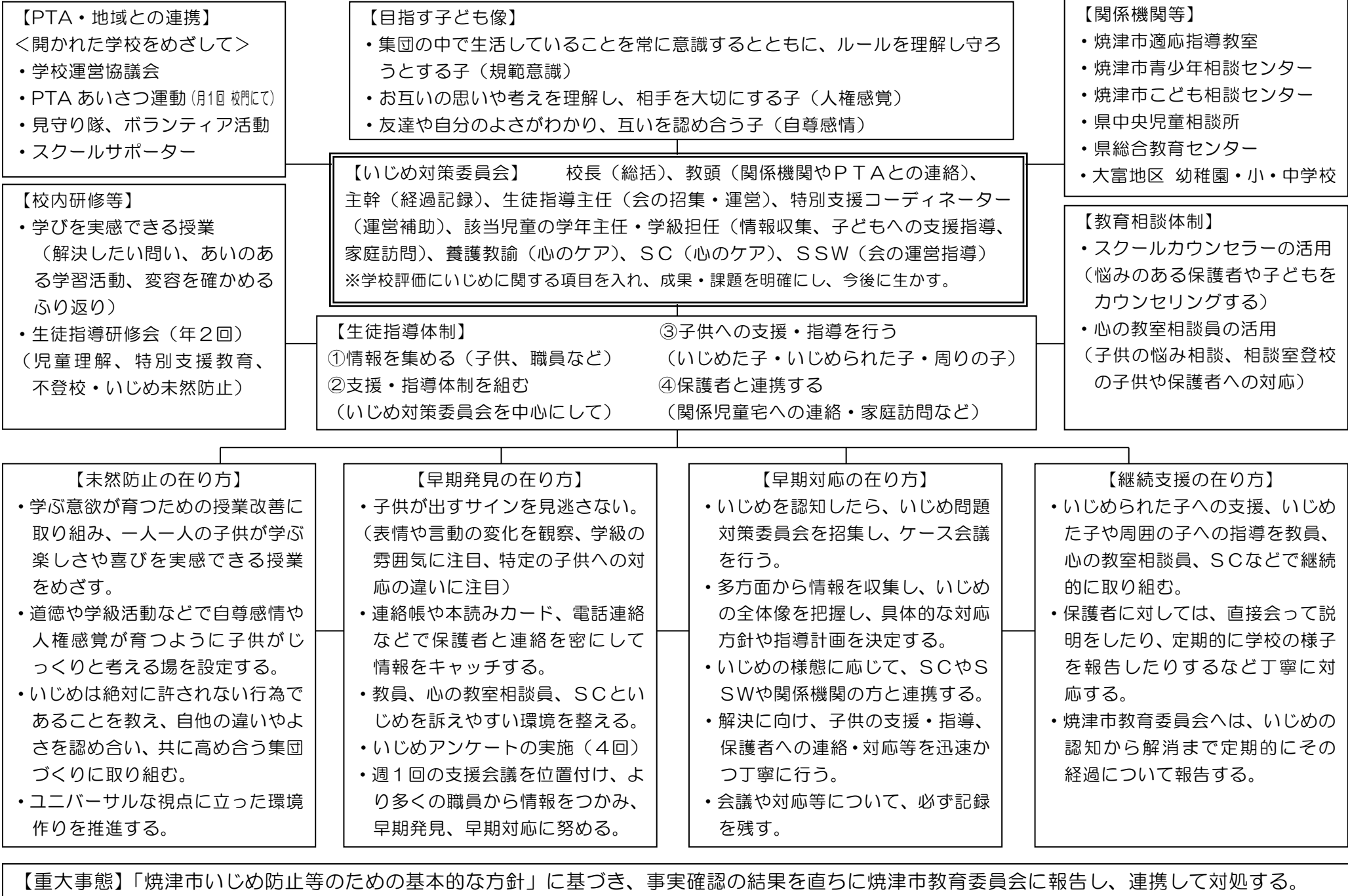


焼津市立大富小学校 いじめ防止基本方針



【PTA・地域との連携】
 <開かれた学校をめざして>
 ・学校運営協議会
 ・PTA あいさつ運動（月1回 校門にて）
 ・見守り隊、ボランティア活動
 ・スクールサポーター

【目指す子ども像】
 ・集団の中で生活していることを常に意識するとともに、ルールを理解し守ろうとする子（規範意識）
 ・お互いの思いや考えを理解し、相手を大切にできる子（人権感覚）
 ・友達や自分のよさがわかり、互いを認め合う子（自尊感情）

【関係機関等】
 ・焼津市適応指導教室
 ・焼津市青少年相談センター
 ・焼津市こども相談センター
 ・県中央児童相談所
 ・県総合教育センター
 ・大富地区 幼稚園・小・中学校

【いじめ対策委員会】 校長（総括）、教頭（関係機関やPTAとの連絡）、主幹（経過記録）、生徒指導主任（会の招集・運営）、特別支援コーディネーター（運営補助）、該当児童の学年主任・学級担任（情報収集、子どもへの支援指導、家庭訪問）、養護教諭（心のケア）、SC（心のケア）、SSW（会の運営指導）
 ※学校評価にいじめに関する項目を入れ、成果・課題を明確にし、今後に生かす。

【校内研修等】
 ・学びを実感できる授業
 （解決したい問い、あいのある学習活動、変容を確かめるふり返り）
 ・生徒指導研修会（年2回）
 （児童理解、特別支援教育、不登校・いじめ未然防止）

【教育相談体制】
 ・スクールカウンセラーの活用
 （悩みのある保護者や子どもをカウンセリングする）
 ・心の教室相談員の活用
 （子供の悩み相談、相談室登校の子供や保護者への対応）

【生徒指導體制】
 ①情報を集める（子供、職員など）
 ②支援・指導體制を組む
 （いじめ対策委員会を中心に）
 ③子供への支援・指導を行う
 （いじめた子・いじめられた子・周りの子）
 ④保護者と連携する
 （関係児童宅への連絡・家庭訪問など）

【未然防止の在り方】
 ・学ぶ意欲が育つための授業改善に取り組み、一人一人の子供が学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業をめざす。
 ・道徳や学級活動などで自尊感情や人権感覚が育つように子供がじっくりと考える場を設定する。
 ・いじめは絶対に許されない行為であることを教え、自他の違いやよさを認め合い、共に高め合う集団づくりに取り組む。
 ・ユニバーサルな視点に立った環境作りを推進する。

【早期発見の在り方】
 ・子供が出すサインを見逃さない。
 （表情や言動の変化を観察、学級の雰囲気や注目の変化に注目）
 ・連絡帳や本読みカード、電話連絡などで保護者と連絡を密にして情報をキャッチする。
 ・教員、心の教室相談員、SCといじめを訴えやすい環境を整える。
 ・いじめアンケートの実施（4回）
 ・週1回の支援会議を位置付け、より多くの職員から情報をつかみ、早期発見、早期対応に努める。

【早期対応の在り方】
 ・いじめを認知したら、いじめ問題対策委員会を招集し、ケース会議を行う。
 ・多方面から情報を収集し、いじめの全体像を把握し、具体的な対応方針や指導計画を決定する。
 ・いじめの様態に応じて、SCやSSWや関係機関の方と連携する。
 ・解決に向け、子供の支援・指導、保護者への連絡・対応等を迅速かつ丁寧に行う。
 ・会議や対応等について、必ず記録を残す。

【継続支援の在り方】
 ・いじめられた子への支援、いじめた子や周囲の子への指導を教員、心の教室相談員、SCなどで継続的に取り組む。
 ・保護者に対しては、直接会って説明をしたり、定期的に学校の様子を報告したりするなど丁寧に対応する。
 ・焼津市教育委員会へは、いじめの認知から解消まで定期的にその経過について報告する。

【重大事態】「焼津市いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、事実確認の結果を直ちに焼津市教育委員会に報告し、連携して対応する。

焼津市立大富小学校 いじめ防止対策年間計画

月	① 組織・連携・研修・評価 等	②未然防止	③早期発見・対応と継続的支援
4	いじめ防止対策委員会①【P】 ※組織・活動内容の確認 授業参観懇談会①	質問紙調査・効果測定プログラム活用①【D】 人間関係づくりプログラム実施①【D】 1年生の入学を祝う会【D】 「かがやきみつけ」(帰りの会:通年)【D】	日記、連絡帳から情報収集(通年)【D】 月末 月例報告(把握と経過報告) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 日常観察(健康観察等)【D】 学年会、心づくり部会の開催【D】 ケース会議の開催(随時)【D】 SCとの情報交換・連携【D】 </div>
5	見守り隊総会 スポ少連絡会 生徒指導研修会①(子ども理解)【D】	人間関係づくりプログラムの実施②【D】 4月～5月 道徳「礼儀・友情・信頼」【D】	上旬 必要に応じて面談(連絡体制づくり)【D】 月末 月例報告(把握と経過報告)
6	ハートチェックアンケート①【C】 幼保小中合同研修会	運動会(みんなで力を合わせる)【D】 運動会での「かがやきみつけ」【D】 人間関係づくりプログラムの実施③【D】 6月～9月 道徳「努力と強い意志・思いやり・親切」【D】	アンケート結果をもとに対策会議 子供への支援・指導、保護者への連絡【A】 月末 月例報告(把握と経過報告)
7	学校評議委員会① 保護司連絡会 地区民生児童委員連絡会	4年・特別支援学級宿泊学習【D】 (集団づくり、みんなで協力する力) 人間関係づくりプログラムの実施④【D】 質問紙調査・効果測定プログラム活用②【D】	月末 月例報告(把握と経過報告) 保護者面談(情報交換・支援)【D】
8	生徒指導研修②【D】 (SCを講師に適切な子ども対応)	夏休みでの「かがやきみつけ」【D】	月末 月例報告(把握と経過報告)
9	ハートチェックアンケート②【C】 授業参観懇談会②	年間を通して、 *積極的に「褒める・認める・価値付ける」ことを繰り返す *「温かいいきき方」・「あいさつボランティア」の実践 *学年集会の積み上げ【D】	アンケート結果をもとに対策会議 子供への支援・指導、保護者への連絡【A】 月末 月例報告(把握と経過報告)
10	いじめ防止対策委員会②【P】 ※前期の活動のふり返り・まとめ、 後期の活動計画の作成	10月～12月 道徳「生命の尊さ・公正、公平」【D】 6年修学旅行【D】 (学年集団づくり、班で協力する力)	月末 月例報告(把握と経過報告)
11	ハートチェックアンケート③【C】	5年自然教室【D】 (学年集団づくり、班で協力する力) 質問紙調査・効果測定プログラム活用③【D】	月末 月例報告(把握と経過報告)
12	学校評議委員会② 授業参観懇談会③ 学校評価アンケートにいじめに関する項目を入れ、評価する。【C】		アンケート結果をもとに対策会議 子供への支援・指導、保護者への連絡【A】 月末 月例報告(把握と経過報告)
1		1月～3月 道徳「感謝・正直、誠実」【D】	月末 月例報告(把握と経過報告)
2	授業参観懇談会④ ハートチェックアンケート④【C】 ※後期の活動のふり返り・まとめ、 次年度の活動計画の作成【P】	新一年生の学校体験(1年生が年長さんに優しく接する)【D】 6年生ありがとうの会 (6年生へ感謝の気持ちを表す)【D】	アンケート結果をもとに対策会議 子供への支援・指導、保護者への連絡【A】 月末 月例報告(把握と経過報告)
3	児童一人一人についてのまとめ ※デジタル校務・生徒指導個票への 記載と申し送り【D】	卒業式(自分や友達の成長に喜び、 関わった人に感謝する)【D】	月末 月例報告(把握と経過報告)